



平成24年10月8日（月）体育の日に、「第36回安芸ピットリタイムレース」がさわやかな秋晴れのもと土居溝ノ辺公園前～県道29号安芸物部線をコースにして開催されました。

この大会は、「生涯にわたり健康で豊かな生活を送るため、個々の目的にあったスポーツ活動を気軽に楽しく実践し、また継続したものにしていけるため」に安芸郡市体育会が主催しているものです。

以前は参加者が100名を越えることも度々ありましたが、最近では60～70名ほどの参加で行われています。今年は3kmの部33名、5kmの部20名、7kmの部8名、計61名の参加者が、東は室戸市、西は高知市から集まりました。

参加者の最年長者は84歳、最年少者は29歳で、平均年齢61.1歳とベテランランナーが多いのがこの大会の特徴になっています。（ちなみに昨年の最年長者は88歳、最年少者は26歳で、平均年齢57.7歳でした。）しかし、みなさん大変元気なのに驚かされます。

さて、レースの方法ですが、参加者は、あらかじめ3km・5km・7kmのコースを選び目標タイムを登録します。その目標タイムと当日のタイムとの差が少ない者から順位を付けていきます。また、団体の部もあり、3人でチームを作り誤差の合計が少ないチームから順位を付けていきます。団体のチームが組めていない参加者も、事務局の方で調整しチームを作っていきます。



開会式では、選手を代表して昨年の団体の部で優勝した大坪陸男さん（最年長者）が、力強く選手宣誓をしてくださりました。

レースは和やかな雰囲気の中、7km、5km、3kmの順でスタートし、参加者全員が安芸川沿いのコースを事故や怪我もなく、自分のペースで走り切ることができました。

そして、レースの結果はというと、3kmの部では誤差0秒のピットリ賞を筆頭に6位までは誤差3秒以内、5kmの部でも1位は誤差1秒、6位でも誤差9秒、7kmの部の1位は誤差3秒という非常にレベルの高い接戦となりました。

それだけ、みなさん日頃からランニングに親しみ、自分のペースを熟知しているということでしょう。

閉会式では、喜びの歓声が上がる中、入賞者の表彰があり、さらに特別賞として「最年長・最年少賞」や「ようこそはるばるきたで賞」「ラッキーナンバー賞」が発表され、7名の該当者には安芸市の特産品が賞品として贈られました。

最後に、安芸郡市体育会の山内会長から、「今年参加された方々が、少しでも多くの仲間を誘い来年の大会に参加して下さるよう待っています。」というあいさつがあり、全日程を終えました。

